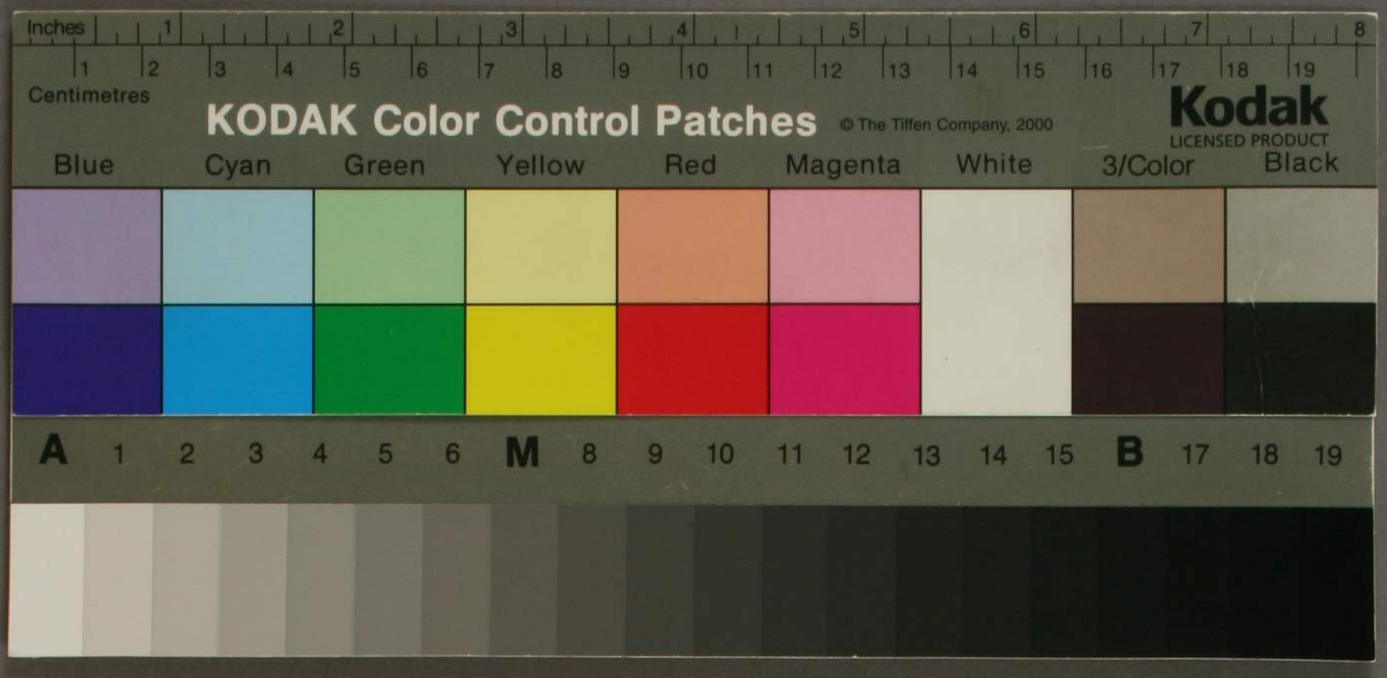
Inches
Centimetres
KODAK Color Control Patches
© The Tiffen Company, 2000
Kodak
LICENSED PRODUCT
Blue
Cyan
Green
Yellow
Red
Magenta
White
3/Color
Black
A
M
B

洋学文庫
文庫8
A 156
2

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 20 1 2 3
JAPAN

特118 206 2

倍因氏心理新説目次

卷之二

知力論、

知力ノ原性、

第一把住識、

㈠把住識ハ接近律ニ從フ、

㈡把住識ノ理法、

動作、

㈢練習ニヨリ發達スベキ先天ノ發動性、

(四)共發スル動作、
(五)繼起スル動作、
(六)習成ノ進歩ヲ助クル事項、
動作ノ觀念、
(七)動作ノ觀念ノ聯合、
(八)實事トナラントスル觀念ノ傾向、
(九)同情モ亦觀念ヨリ起ル、
(十)動作ノ感應モ、亦聯合ス、
(十一)動作ハ筋カヲ減損ス、
同官ノ感覺、
(十二)屢起ル感覺ノ聯合、
(十三)各觀念ハ反覆ニヨリ自ラ保持ス、
(十四)觸覺ノ聯合、
(十五)觸覺ノ聯合ヲ論ズルニハ、其特質ヲ問フヲ要ス、
(十六)聽覺ノ聯合、
(十七)視覺ノ聯合、
異官ノ感覺、
(十八)異官ノ感覺ノ聯合、
(十九)異官ノ聯合ノ理法、

(二十)体中ノ感應ノ位置、
(廿一)人ノ体軀ハ、主觀ト客觀トノ間ノ
位置ヲ占ムル、
(廿二)同一ノ性質ヲ有スル感覺ノ聯合、
快樂ト苦痛トノ聯合、
(廿三)快樂ト苦痛トノ聯合ハ、再生セシ
ムルヲ得、
(廿四)情緒ハ感染トナルコアリ、
(廿五)情緒ハ旁在スル物ニ及ブ、
(廿六)聯合ハ目途ノ興味ヲ方法ニ轉ズ、

(廿七)美術ハ聯合ノ爲メニ娯樂ヲ生ズ、
(廿八)表現スル感應ハ、習成スルヲ得、
(廿九)他人ニ發スル幸福ノ徴候、
(三十)老年ノ人ノ幸福、
(卅一)良心モ亦聯合ニヨリテ起ル、
機械的ノ得識
(卅二)機械的ノ得識ニ要スル事項、
(卅三)機械的ノ練習、
(卅四)言語上ノ得識、
(卅五)言語ハ名目ト事物トノ聯合、

(卅六)言語ノ得識ハ各自ノ嗜好ニヨリテ異ナリ、

(卅七)言語ヲ得識スルノ捷徑、

(卅八)言語ヲ記憶スルハ、知識ヲ得ルノ便、

第二　契合識、

(一)契合識ノ理法、

(二)類似律ハ、接近律ニ包含セラル、

(三)類似律ニヨリテ過去ヲ回想スルハ、ノ障碍、

微弱ノ印象、

(四)印象甚ダ微弱ナル片ハ、過去ヲ回想スルヿ能ハズ、

駁雜中ノ類似、

(五)駁雜中、類似力ニ由リテ再現スル行動ノ類、

(六)發音上ノ行動、

(七)有機感覺、

(八)味覺ノ類似、

(九)觸覺ノ類似、

(十)聽覺ノ類似、
(十一)視覺ノ類似、
　接近セル諸質ノ叢會、
(十二)若干ノ覺官ニ感ズル外物、
(十三)聯合シタル諸質、並ニ利用ノ叢會、
第三　複雑聯合、
(一)複雑聯合ノ理法、
　接近聯合ニヨリテ集合スル觀念、
(二)觀念ノ接續、並ニ繼在、
　類似ノ集合、

(三)類似多キ片ハ、回想ノ助トナル、
　混同セル接近、及ビ類似ノ二律、
(四)類似律ニテ記憶スベシ、
　ニテ聯合シタル事ハ、接近律
(五)類似ノ回想ハ、新近ナル事物ニ徴ス、
(六)人工ニテ記憶ヲ助クルノ法、
　感應ノ成分、
(七)感應ハ複雑聯合ノ成分トナル、
　執意ノ勢力、
(八)意志ハ間接ノ勢力ヲ有ス、

障碍トナル聯合、

(九)助成スル勢力ハ、拒絶スル勢力ヲ含有ス、

第四　構造聯合、

(一)心意ハ原造力ヲ有ス、

機械的ノ構造、

(二)機械的ノ習成ニヨリテ種々ノ行動ヲ結合ス、

言語上ノ構造、

(三)發音ニ分節ヲ生ズ、

(四)言語ヲ連結シテ文章ト為ス、

(五)言語ヲ連結スルノ最モ長キ者、

行動ノ感應、

(六)行動ノ感應ニ新奇ノ結合ヲ生ズ、

感覺ノ構造、

(七)覺官ノ感覺ハ、構造スル所多シ、

情緒ノ構造、

(八)高等ノ情緒ノ構造、

實際上ノ構造、

(九)實際上ノ構造ハ、如何ナル處ニモ存

ス、

感應ノ構造、

(十)直接ノ感應ヲ大成セントスル構造、

(十一)美術ノ構造、

(十二)想像ハ美術ノ構造中ニ存ス、

倍因氏心理新説巻之二

井上哲次郎 抄譯
大槻文彦 校訂

知力論

知力ノ原性ハ、第一、辨別識、第二、契合識、第三、把住識、是レナリ、總ベテ、知力上ノ諸官能ハ、何レモ、此原性中ノ一、若クハ一以上ヲ含有シテ、其他ハ絶エテ含有スルコトナシ、

(イ)辨別識ハ、知力中ノ肝要ナル者ナリ、若シ寒熱、紅緑等ヲ辨識セザル片ハ、絶エテ覺知スル

所ナカルベシ、總ベテ、智識ノ起リハ、彼レト此レトヲ分別スルニ本ヅクナリ、

辨別識ノ主義ヲ相關律ト云ヒテ、感應モ智識モ、其度ヲ變ズルヿナケレバ、我レ之ニ感ズルヿ能ハズ、又之ヲ知ルヿ能ハズ、即チ、各感應ト各智識トハ、他ノ感應并ニ智識ニ比シテ、始メテ覺知スベキナリ、顧フニ、此等ノ事ハ、世人ノ熟知スル所ナレバ、本篇後條ニ於テ別ニ之ヲ説明セズ、

(ロ)契合識モ、亦辨別識ト同ジク、至要ナル者ナリ、若シ始メテ赤色ヲ感ジ、後チ復タ赤色ヲ見バ、此レト彼レト同一ナルヲ知ラン、是レ蓋シ再ビ赤色ヲ見ルトキハ、契合力ニヨリテ、前ノ赤色ヲ追想スルニ由ルナリ、

凡ソ智識ハ、辨別ト契合トヨリ成ルヲ以テ、如何ナル事物ニテモ、之ガ定義ヲ下ダスハ、即チ其他ノ事物ト契合スルヤ否ヤヲ示スニ外ナラザルナリ、

(ハ)把住識ト云フ原性ハ、二様ニ分ツヲ得、第一、心意上ノ感動力ガ、其要因ノ退キタル後ニ連

續スルヲ謂フ、例(タト)ヘバ、鐘聲ノ耳ニ感ズル片ハ、鐘聲已ニ止ムト雖モ、心意上ノ感動ハ、猶ホ止マザルガ如キヿ、是レナリ、第二、又更ニコレヨリ高等ナル能力アリ、是レ他ナラズ、過キ去リタル事ヲ心意中ニ再現スルヿナリ、例ヘバ、曾テ聞キタル音響ヲ再ビ聽クヿナクシテ、能ク追憶スベキガ如キヿ、是レナリ、コレヲ真成ノ記憶トス、而シテ其縁起スル理由ハ詳ナラザレ片、蓋シ亦動物ノミニ屬スル一種ノ官能ナラン、

○リード、スチュワート、諸氏ハ、知力ヲ區分シテ、左ノ如キ名目ヲ立テタリ、曰ク、知力ノ諸官能ハ、記憶、及ビ断定、抽象、理性、想像、是レナリト、然レドモ、能ク之ヲ観レバ、此區分ノ法ハ、十全ナラズ、乃チ本篇ノ區分ヲ以テ正シトス、

第一、把住識

(一)把住識ノ事ハ、大抵接近律ト云ヘル主義ニ從フ者ナリ、

把住識ハ、記憶、慣習、等ノ總名ナリ、

(二)作用、感覺、并ニ感應等ノ一時ニ起ル片ハ、必ズ

相伴生スルノ傾向アリテ、若シ其一ヲ追憶スレバ、其他モ亦現出スルナリ、

觀念ノ聯合ハ、時限ノ長サト反覆ノ度トニ由ルヿ明ナリ、

動作

(三)先天ノ發動性ハ、練習ニ由リテ發達セシムベシ、

發動性ノ勢威ノ加ハルハ、蓋シ其屢〻起ルニ由ル、故ニ小兒ノ匍匐スルガ如キ、乳房ヲ吸フガ如キ、皆反覆スル毎ニ改良ス、

(四)屢〻共發スル動作ハ、心意中ニ聯合ス、故ニ之ヲ追憶スレバ、必ズ相伴生ス、

人ノ歩行スルヤ、且ツ脚ヲ動カシ、且ツ腕ヲ動カスヲ以テ、習慣ノ久シキヨリ、二様ノ作用ヲ伴生セザラシムルヿ能ハズ、

(五)繼起スル動作モ、亦習成スベキナリ、

總ベテ、手術上ニテ繼起スル動作ハ、固ク聯合シタル者ナリ、故ニ、唯〻始ヲ為セバ、其餘ハオノヅカラ伴生ス、例ヘバ、喰ハント欲シテ口ヲ開ケバ、覺エズ肉片ヲ擧グルガ如キヿ、是レナリ、

(六)習成ノ進歩ヲ助クル事項ハ、第一、反覆若シクハ繼續、第二、心意ノ凝聚、第三、各自ノ有スル自然ノ附着力、是レナリ、

第一、凡ソ、習成スルニハ、必ズ繼續若シクハ、反覆ヲ要ス、而シテ、自然ノ不足ハ、反覆ノ効ニヨリテ補フベキナリ、

第二、心意ノ凝聚ハ、習成ノ進歩ニ於テ、大ニ効アル者ニテ、若シ作事アル片、專一ニ注意スレバ、動作ノ固着、隨ヒテ又速ナリ、然ルニ、之ニ反シテ、不注意ナル片ハ、習成ノ進歩、之ガ為メニ遲キナリ、

第三、附着力ノ、体質ニ隨ヒテ異ナルハ、常ニ人ノ觀ル所ニテ、凡ソ事物ヲ學習スル人ニハ、甚シキ不同アル者ナリ、例ヘバ、國語、科學、音樂等ノ嗜好ハ、各自ノ異ナル所ナレバ、其自然ノ附着力モ、亦隨ヒテ異ナル者ナリ、

動作ノ觀念

(七)動作ノ觀念モ、亦互ニ聯合スルコアリ、自己ノ動作ハ勿論、又ハ他人蹈舞スル形狀ヨリ搖觸ノ方法ニ至ルマデ、總ベテ思想中ニ再

現スベキナリ、

(八)觀念ハ、總ベテ、其強度ニ從ヒテ實事トナランストスルノ傾向アリ、是ヲ尋常ノ意志ニ異ナル衝動ノ根源トス、

意志ハ、快樂ト苦痛トニヨリテ制セラル、者ナレ𪜈、強ク把任セラレタル觀念ハ、縱ヒ苦痛ニ近ヅクモ、猶ホ實事トナラントス、今其的例ヲ擧ゲンニ、感ジ易キ人ハ、他人ノ自殺ヲ聞キテ、自ラ之ニ倣ヒ、意志之ヲ止メントスレ𪜈、止ムルヿ能ハズ、又斷崖ノ上ニ立ツ人ハ、斷崖ノ前ニアルヲ見テ、忽チ身ヲ投ゼントスルノ傾向アリ、但意志ノカニヨリテ、僅ニ之ヲ止ムベキナリ、

(九)同情モ、亦觀念ヨリ起リ、尋常ノ意志トハ格別ナル者ナリ、

若シ、意志ノ定義ヲ下ダシテ、快樂ヲ求メ、苦痛ヲ避クルヿトセバ、已レニ利アラザル行ヒハ、何故之ヲ為スカ、蓋シ人ハ自己ノ經驗ニヨリテ、他人ニ屬スル苦痛并ニ快樂ノ觀念ヲ生ジテ、之ガ為メニ發動シ、多少ノ苦痛ヲモ顧ミザル

ナリ、故ニ若シ此ニ飢エタル人アラバ、縱ヒ自ラ費ヤス所アルモ、之ヲ救ハントスルナリ、

(十)動作ノ感應モ、亦互ニ聯合スルコアリ、

蹈舞ノ如キ錯雜シタル作用モ、心意中ニ反覆スベキ者ナレバ、反覆ノ効ニヨリテ、能ク聯合スベキ者ナリ、又言語ヲ得識スルニハ、必ズシモ大音ヲ發スルヲ要セズ、故ニ童子ハ、間〻低聲ニテ其課程ヲ學ブコアリ、

(十一)凡ソ動作ハ、實際ナルモ理想ナルモ、心意上ニ於テハ、俱ニ筋力ヲ減損スル者トス、

減損ノ各度ハ、先ヅ之ヲ辨識シ、後ニ之ヲ聯合スルヲ要ス、何トナレバ、精密ナル辨識ハ、把住力ヲ添フレバナリ、

同官ノ感覺

(十二)屢〻起ル覺官ノ所感ハ、聯合作用ノ為メニ連絡スルナリ、

若シ、連續シタル味覺ノ觀念アル片、其一ヲ思想スレバ、其餘ハ、之ト共ニ、心意中ニ現出スルナリ、然レ𪜈、味覺ノ觀念ニハ、此ノ如ク連續シタル者アルコ稀ナリ、若シ又、花園ヲ過ギ、薰氣

ノ繼起スルニ逢フヿアリテ、屢〻此經驗ヲ反覆スル片ハ、連續シタル嗅覺ノ觀念ヲ生ズルニ至ルベシ、

(十三)連續シタル觀念ノ、心意中ニ固定スルト同一ノ作用ニヨリテ、各觀念モ、亦自ラ保持スルヲ得、

味覺嗅覺ノ別ナク、凡ソ連續シタル觀念ヲ回想シ得ルニハ、各觀念ノ自ラ保持スルヲ得ルニヨル、故ニ麵包ノ味ニヨリテ、牛酪ノ味ヲ伴生スルニハ、先ヅ牛酪ノ觀念ヲ有セザルヲ得ズ、

(十四)同官ノ感覺ノ中ニ聯合ヲ生ズルハ、觸覺ニ於テ甚タ多シトス、

觸覺ニハ、多様ノ感覺アリテ、此感覺ノ各種中ニ聯合ヲ生ズ、故ニ手套ヲ弄スルニ慣レタル童子ハ、其柔輭ナルト其靱鞏ナルト其温煖ナルトヲ聯合ス、此ノ如ク、各種ノ感覺ヲ連絡スルヲ得バ、習慣ニヨリテ、其一ヲ回想スレバ、其餘ハ隨テ伴生スルニ至ルナリ、

(十五)觸覺ノ聯合ヲ論ズルニハ、又其特質如何ヲ

問ハザルヲ得ズ、

觸覺ニ二種アリ、其一ハ、單一ナル觸覺ニテ、知力上ニ於テハ、味覺嗅覺ニ勝リ、聽覺視覺ニ劣ル、其一ハ筋覺ニテ、物ノ重量、剛柔、大小、及ビ形狀ヲ辨識スル者ナリ、

(十六)聽覺ノ聯合ハ、間〻錯雜スルヿアリト雖モ、大別シテ、音樂ニ屬スル者ト、分節アル者トノ二種ニ分ツナリ、

二種ノ音響ヲ屢〻同時ニ聽クヿハ、後チ觀念中ニ於テ相伴生ス、故ニ、反響スル壁前ニ音響ノ起ルヿアラバ、必ズ其反響ヲ預料セン、音樂ニ熟達スル片ハ、各韻互ニ聯合スルヲ以テ、其一ヲ聽クヿハ、其他ノ觀念ヲ生ズ、故ニ樂人ノ練熟ハ、連續シタル音響ノ觀念ヲ得ルニアリ、抑〻契合識ハ辨別識ニ本ヅキ、把住識ハ他ノ二識ニ本ヅク者ナレバ、辨別識ノ利鈍ハ、三識ノ隨ヒテ定マル基址ナリ、是ヲ以テ、非常ナル辨別識アル片ハ、非常ナル把住識アルナリ、是レ唯音樂上ノ事ノミナラズ、大凡ソ、記憶ヲ能クスルハ、鋭利ナル辨別識ヲ得ルニアルナリ、

分節アル音響モ、音樂ノ音響ト、同一ノ理由ニヨリテ固着ス、故ニ各分節ヲ熟知シ、之ヲ次第ニ連續スル片ハ、錯雜シタル語言ノ音響ヲ成スモノナリ、

(十七)固着シタル視覺ノ叢會ハ、主トシテ思想、記憶、及ヒ想像ノ材料トナル者ナリ、

視覺ノ所感ハ、視覺ト筋覺トニヨリテ起ル、即チ能感ト所感トヲ合スルナリ、

各色ノ已ニ觀念トナルハ、抑〻其聯合スルノ始メナリ、蓋シ筋覺ヲ離レテ、唯〻色ノ聯合ノミヲ

思想スルハ、能クシ難シト雖モ、色ヲ以テ主トスルコトハコレナキニアラズ、即チ朝曦、夕陽ノ美麗ナル如キ是レナリ、又多態ナル山水ノ如キハ、各色ノ叢會ニシテ、其觀念ノ聯合スルヤ、主トシテ視覺ニヨルモ、之ニ反シテ色少ク形多キ者ニ至リテハ、筋覺之レガ主トナルナリ、例ヘバ家ノ結構、機械ノ造構ノ如キ、是レナリ、

異官ノ感覺

(十八)人ノ教育ハ、動作并ニ動作ノ感應、及ビ異官ノ感覺中ニ種々ノ聯合ヲ生ズルニアルナリ、

實物ノ錯雜ナルガ為メニ、一物ニシテ一時ニ多クノ覺官ヲ感ズルコアリ、例ヘバ、鐘ハ理想上ニ於テ觸覺、聽覺、視覺ノ合シタル者ナリ、

(十九)異官ノ聯合スルヤ、其附着ノ速度ハ、各官ノ附着力ニ隨ヒテ變ズル者ト假定スベキナリ、若シ、之ニ反スルコトナケレバ、視覺ト聽覺ト聯合スルヤハ、其速度ハ、視覺ノ附着力ト、聽覺ノ附着力トニヨルト想像スベキナリ、

(廿)体中ノ感應ノ位置ヲ知ルハ、全ク習成シタル知覺ニヨルナリ、

今、手ヲ以テ体中ノ局部ニ觸レシムルヤハ、其觸ルヽ所ト其感ズル所トヲ對合ス、若シ、手ヲ他處ニ移スヤハ、其變ハリタル所ト、其觸ルヽ所トヲ連契ス、是レ体中ノ感覺ノ位置ヲ知ルノ始メナリ、然レヒ猶ホ之ヲ解釋スルヲ要ス、如何トシテ、同一ノ壓搾ヲ、或ハ某ノ處ニ認識シ、或ハ他ノ處ニ認識スルヲ得ルカ、感覺ノ性質ハ、同一ナルベキニ、何故ニ、之ヲ各様ニ感ズルヤ、顧フニ、局部ニ散布スル神經ノ異ナルヨリ起ルナラン、而シテ感覺ノ位置ヲ知ルハ、表面

ルハ、獨リ觸覺ノミナラズ、又視覺并ニ筋ノ動作モ、亦然ルナリ、

光ハ、同一ノ性質ヲ有スト雖モ、其我ガ視神經ニ感ズルヤ同ジカラズ、即チ同ジカラザル動作ヲ聯合ス、若シ此ニ寧子ノ區別シ難キ者アラバ、幾分ノ差ヲ衣服ニ認メ、以テ相混ゼザラシメントス、是レ皆、視神經ノ各部ニ起ル諸感覺ノ、其連絡ヲ異ニスルガ為メニ同ジカラザルナリ、

筋モ亦位置ニヨリテ同一ノ性質ヲ有スル感

ヲ以テ最モ易シトス、蓋シ表面ノ變化ハ、日ニ視ルベキナリ、然ルニ夫ノ筋中ノ感覺ハ、其位置ヲ定メ難キナリ、

(廿一)人ノ体軀ハ、主觀ト客觀トノ間ノ位置ヲ占ム、故ニ之ヲ諦視スル片ハ、即チ客觀的ナリ、然レ片亦主觀上ニ強キ聯合ヲ生ズル者ナリ、

皮膚ノ局部ヲ諦視スル片ハ、主觀上ノ感應ヲ生ズ、若シ痛所アリヤト想像シテ、之ヲ諦視スルヤ、ハ、殆ト實ニ痛所ヲ生ゼントス、

(廿二)同一ノ性質ヲ有スル感覺ノ、各様ニ聯合ス

覺ヲ區別スルヲ得ルナリ、今右手ヲ擧グルモ、左手ヲ擧グルモ、其感應ハ異ナラズ、然レ𪜈其連絡ハ同ジカラザルナリ、

快樂ト苦痛トノ聯合

(廿三)快樂ト苦痛トハ、固有ノ激因ナキモ、接近聯合ニヨリテ、幾分カ再生セシムルヲ得、覺官ノ快樂ハ、其原因、若クハ之ト相關スル者、ニヨリテ、之ヲ回想スルヲ得、故ニ体操ノ機具ニハ、運動ノ快ヲ思ヒ、安逸ナル椅子ニハ、休息ノ快ヲ思ヒ、食物竝ニ其料理ニハ食フ刻ノ快ヲ思フ、覺官ノ苦痛ハ、コレヨリ一層強ク感ゼシメラル、故ニ曾テ甚シキ痛ミヲ生ゼシモノハ、之レニ逢フモ、亦痛ミヲ生ズ、

殊ニ外科ノ機具ヲ視テハ、嫌忌ノ心ヲ生ズ、然ルニ之ヲ矯メントスルニハ、多少ノ耐忍ヲ要スルナリ、

此ノ如ク聯合シタル快樂ト苦痛トハ分チテ之ヲ言ヘバ、其勢力ノ眞成ノ者ニ及バザル𠆢ハ明ケシ、然レ𪜈集メテ之ヲ言ヘバ、決シテ然

ヲ喚起スルニ足ル、此事宗教上ニ於テハ、最モ著ルシトス、即チ靈地祭事等ハ、總ヘテ祈念ノ情ヲ喚起スル者ナリ、

人ノ權威ヲ擴張スルヿモ、亦此聯合ヲ生ズルニ因ル、夫ノ朝衣朝儀等ハ、權威ヲ尊大ニスルノ効アル者ナリ、

(廿六)聯合ハ能ク目途ヲ要須スル興味ヲ方法ニ轉ズ、

此聯合ノ近キ的例ハ金錢ナリ、始メ此ニ由リテ快樂ヲ得、此ニ由リテ多クノ苦痛ヲ免ル、

ラズ、即チ我ヲ圍繞スル者ハ、大抵快樂ト聯合シ、我ヲシテ、我快樂ノ時ヲ回想セシムルナリ、

(廿四)一ノ情緒ヲ常ニ一物ニ向クルヿハ感染トナルナリ、

忿怒ヲ反覆スレバ、憎惡トナリ、恐怖スルヿ常ナレバ、隨ヒテ益甚シ、宗教上ノ情操モ、亦感染ト為リテ、祈念ノ器具ヲ見レバ、コレト共ニ伴生ス、

(廿五)情緒ハ旁在スル無情ノ物ニ連及ス、

忿怒、恐怖、私慾等ト偶然ニ關係スル者ハ、感應

ヿヲ聯合シ、遂ニ之レガ為メニ感染シ、貯蓄シタル金錢ヲ以テ、未ダ買ハザル萬種ノ供給ニ勝ルトスルニ至ルナリ、

此ノ如ク方法ヲ誤リテ目途トスル者アル片ハ、眞理ノ如キハ人間ノ幸福ト關係アルヿ極メテ多キヲ以テ、其結果ノ急不急ヲ問ハズシテ之ヲ究ムル者アルガ如キハ、更ニ怪シムニ足ラザルナリ、

(廿七)美術ニ屬スル者ハ、多クハ聯合ノ為メニ其娯樂ヲ生ズ、

美術ハ娯樂ヲ生ズル固有ノ性ナキニアラズト雖モ、多クハ他ノ娯樂ヲ生ズル者ト聯合スルニ由リテ然ルナリ、故ニ健康ナル顏色ヲ見テ娯樂ヲ生ズルハ、顏色ノ為メニ娯樂ヲ生ズルニアラズ、又胸膈ノ廣キ、筋ノ發達、骨ノ大サ、等ヲ見テ娯樂ヲ生スルモ、實ニ夫等ノ者ヨリ娯樂ヲ生ズルニハアラズ、サレド、是レ皆之ヲ体力上ヨリ見テ娯樂ヲ生ズルナリ、

(廿八)感應ノ顏色ニ現ハルヽ者ト言語ニ現ハルル者トハ、共ニ習成スベキナリ、

笑顔ト怒顔トノ意味ハ、幼稚ノ時、既ニ之ヲ知ルヲ得、蓋シ快樂ナリ、苦痛ナリ、思慕ナリ、忿怒ナリ、恐怖ナリ、驚駭ナリ、總ベテ容貌、聲音、及ヒ擧動ヲ變ズル者ハ、其境遇ニ由リテ、其意味ヲ知ルベキナリ、

(廿九)他人ニ發スル幸福ノ徴候ハ、我ニ於テモ亦喜悦スベキナリ、

他人ノ幸福アルヲ見ルモ、亦我幸福ノ一部分ナリ、童子并ニ獸類ハ、其幸福アル態度ニヨリテ、他人ヲ喜バシムルモノナリ、之ニ反シテ不幸ナル者、并ニ忿怒スル人ノ如キハ、其社會ノ人ヲシテ鬱憂ナラシムルナリ、

(三十)人ノ老年ノ幸福ハ、多クハ幼年ノ快樂ヲ記憶スルニ由ルナリ、

凡ソ幼年ノ時ハ、甚タ習成シ易キヲ以テ、快樂ト苦痛トノ如キモ、之ヲ記憶スルヿ極メテ多シ、且ツ同一ナル快樂モ、幼年ノ時ニ起ルト、中年ノ時ニ起ルトニ依リテ、其記憶スベキ度ヲ異ニスル者ナリ、

(卅一)良心モ亦多少聯合ニヨリテ起ル、但聯合ノ

感化スル度ニ至リテハ、未ダ定説アラザルナリ、
一種ノ行為、(例ヘバ竊盗ノ如キ)常ニ懲戒ノ原
由トナラバ、其行為ト其苦痛トノ間ニ聯合ヲ
生ジ、其苦痛ヲ避ケンガ為メニ、其行為ヲ避ク
ルナリ、
其他聯合ノ種類少シトセズ、執意ノ作用、外物
ノ觀念等一トシテ聯合ニヨラザルハナシ、然
レ𪜈盡ク之ヲ説明スレバ、煩瑣ノ弊ヲ免レザ
ルヲ以テ、此篇ニハ之ヲ略ス、

(卅二)機械的ノ得識ハ、第一、活潑ナル機關ヲ有ス
ルト、第二、官能ノ鋭敏ナルト、第三、特別ノ嗜好ア
ルトニヨルナリ、
第一、活潑ナル機關ハ、筋力ト發動性ト知覺力
トノ三者ニ屬スル者トス、
第二、官能ノ鋭敏ナルモ、亦要用ノ事ニテ、滑面
ヲ撿スル片ハ、鋭敏ナル觸覺ヲ要シ、色ニヨリ
テ物ヲ撿スル片ハ、視力ヲ要シ、分節アル音響
ヲ得ルニハ、耳ノ聰ナルヲ要ス、
第三、作事上ニ起ル特別ノ嗜好ニハ、種々ノ原

因アリ、鋭敏ナル資質アレバ、必ズ之ヲ誠ミントス、是レ一ノ原因ナリ、又一箇ノ覺官、大ニ發達スレバ、之レガ為メニ特別ノ嗜好ヲ生ズ、此外我ガ伎倆ノ及バザル所ニ嗜好ヲ生ズルヿアリ、例ヘバ、音樂ヲ聽クヿヲバ好メドモ、音樂ヲ學ブヲバ欲セザルガ如シ、

(卅三)機械的ノ練習ヲ得ルニハ、体軀ノ壯強清健ナリヤ否ヤヲ察セザルベカラズ、且ツ作事ハ体内萬機ノ十分ニ發動スルマデ止メザルヲ要ス、諸機關并ニ諸官能ノ壯強清健ナルハ、第一ニ要スル所ナルヲ以テ、機械的ニ熟達スルハ、早曉カ又ハ食後ヲ以テ最モ善シトス、又作事ハ血液并ニ神經、發動スル機關ニ十分注入スルマデ繼續スルヲ要スルナリ、

(卅四)第一、言語上ノ得識ハ、敏捷ナル資質ヲ要ス、即チ音聲ノ分節ト聽覺トノ二者ナリ、

音聲ノ分節ハ、年少ノ時ニ得識スル者ニテ、小児ハ先ヅ各語ノ分節ヲ知リ、次キニ之ヲ連續シテ、文章ヲナスナリ、

耳ノ鋭敏ナルハ、音節ヲ辨識シ、又之ヲ把住ス

ル為メニ要スル所ナリ、此資質ハ聽神經ニ關スル者ト知ルベシ、

(卅五)言語ハ名目ト事物トノ聯合ナリ、

甚シク我心ニ感ズル事物ノ名目ハ、他ノ事物ヨリモ速ニ學習スルヲ得、蓋シ各自ノ知識ハ、各自ヲ感ズル事物ノ名目ナリ、故ニ博物學家ハ、他ノ學科ヨリモ多ク博物學中ノ名目ヲ知ルナリ、

(卅六)言語ヲ得識スルハ、聽クト言フトノ二者ニ係ル者ナリ、而シテ反覆ノ効ハ、各自ノ嗜好ニヨリテ同ジカラザルナリ、

耳孔ニ入ル多クノ言語ノ中ニ、唯僅ナル部分ノミ記憶スルヲ得、而シテ其僅ナル部分ハ、多少反覆スルニ由ルト雖モ、又頗ル特別ノ嗜好ニ由ル者ナリ、

言語ハ多ク偶然ニ心意ヲ注グヨリ記憶スル者ナリ、故ニ甚シク言語ノ不足ヲ感ズル片人ニ告ゲラルレバ、久シク其言語ヲ忘レザルナリ、

(卅七)言語ヲ得識スルノ捷徑ヲ求メントセシ者

アリト雖モ、遂ニ得ザリキ、蓋シ人ハ一事ニ注意スレバ、必ズ他事ヲ忘ルル者ナリ、

健康、秩序、注意等ハ、皆得識ヲ助クル者ナリ、又各自ノ心意ノ附着力ハ、素ヨリ相同ジカラザル者ニテ、或ハ之ヲ一方ニ用ヒ、或ハ之ヲ他方ニ用フベシト雖モ、決シテ増益スベキ者ニアラズ、

(卅八)言語ヲ能ク記憶スレバ、隨ヒテ又知識ヲ得ルノ便トナルナリ、

詩文ヲ反覆背誦スルキハ、言語上ノ記憶ヲ助ク、スコット、マカウレー諸氏ハ、皆敏捷ナル記憶カヲ有セリ、此等ノ人ハ、言語ヲ記憶シ、且ツ其言語ノ表明スル事物ヲモ記憶セリ、然ルニ又言語文章ヲ記憶シテ、全ク其意義ヲ知ラザル者アリ、

第二契合識

(一)契合識、即チ類似律トハ、曽テ起リシ所ノ態度ニ就キ、現在ノ作用、感覺、思想、或ハ情緒ニ類似スル者ヲ回想スルノ傾向ナリ、

類似律ハ接近律ト同ジカラズ、接近律ハ同時

ニ心意中ニ表現スル事物ヲ連絡ス、例ヘバ、光ヲ見テ其熱ヲ思ヒ、物ノ落ツルヲ見テ其觸撃ヲ思フガ如キ、是レナリ、然レ𪜈類似律ハ之ニ加フルニ、今ノ事物ニ由リテ過ギ去リタル事物ヲ追憶スルヲ以テス、

(二)類似律ハ、一方ヨリ之ヲ見レバ、接近律ニ包含セラルヽ者ニテ、若シ反覆ニヨリテ接近聯合ヲ固定スル𪜈ハ、反覆スル毎ニ、總ベテ過去ノ事ヲ再現セシム、

若シ反覆ニヨリテ迂回セル川流ノ觀念ヲ久シク保持セント欲シ、前日ト同一ノ處ニ至リテ、之ヲ見レバ、反覆スル毎ニ、前日ノ結果ヲ回想ス、是レ夫ノ類似律ノ然ラシムル所ナリ、

(三)類似律ニヨリテ必ズ過去ヲ回想セントスル𪜈、之レガ障碍トナルコトハ、觀念ノ微弱ナルト駁雑ナルトニ、是レナリ、

現在ノ印象、甚タ微弱ニシテ、曾テ感ジタル同一ノ印象ト相類似スルコトヲ辨識スルコト能ハザル時アリ、然レ𪜈駁雑ノ為メニ回想シ難キコトヲ以テ最モ通常ノ事トス、

微弱ノ印象

(四)現在ノ印象、甚タ微弱ナル片ハ、過去ノ印象ト殆ド同一ナリト雖モ、猶ホ之ヲ回想スルヿ能ハズ、

現在ノ印象、極メテ微弱ナル片ハ、全ク印象ナキト異ナラズ、然レ𪜈此ニ奇異ナルヿアリ、即チ微弱ナル印象ヲ、一人ハ認識シ、一人ハ認識セザルヿ、是レナリ、今此ニ稀塩水アラン、之ヲ清水トスル者、必ズ多カラン、然レ𪜈其他ノ人ハ、塩味アルヲ認識ス、是レ今ノ塩味ニヨリテ過去ノ塩味ヲ回想シ、二味ヲ比較スルナリ、

(イ)此差違ヲ生ズル心意上ノ原因ヲ考フルニ、第一味覺ハ利鈍ニ、自然ノ差違アリ、是レ唯味覺ノミナラズ、凡ソ覺官ハ總ベテ各自ノ資質ニ隨ヒテ同ジカラズ、故ニ犬ノ嗅覺ハ鋭敏ニシテ、極メテ微弱ナル薫氣ヲ覺知シ、鋭敏ナル人ノ耳ハ、能ク微弱ナル音聲ニ感ズルナリ、

(ロ)第二、慣習カ又ハ他ノ原由ニヨリテ此一人ハ彼他ノ人ヨリモ確定シタル舊感ヲ有スヿ是ヲ以テ、瑣小ノ激因アレバ、忽チ之ヲ回想スル

ナリ、是レ當ニ然ルベキコトニテ、又實ニ然ルナリ、例ヘバ、舟子ノ遠處ニアル舟ヲ認ムルコト、他人ヨリ速ナルガ如キ、是レナリ、

(ハ)第三、人々其注意スル所ヲ異ニスルコトナリ、此慣習ハ、度々心意ヲ一事一物ニ注ぐヨリ、漸次ニ習成シタル覺官ノ鋭感ナリ、故ヲ以テ、一箇ノ業ヲ專務トスルヤハ、總ベテ其業ニ關係アル事ニ感ジ易キナリ、

以上ノ三條ハ、各自ノ思想カヲ異ニスル原由ナリ、此外別ニ又本然ノ類似カアリ、故ニ類別シテ之ヲ言ヘバ、

第一、本然ノ類似カ、

第二、特異ノ差違、並ニ局部ノ差違、

(イ)覺官ノ自然ニ有スル鋭感、

(ロ)最初ノ印象ノ強弱、並ニ深淺、

(ハ)一事一物ニ就キテ習成シタル鋭感、

總ベテ此等ノ原由ハ、皆駁雜ノ障碍ヲ破ルニカアル者ナリ、然レ氏之レガ為メニ又次ニ述ブル所ノ原由ヲ要セザルヲ得ズ、

駁雜中ノ類似

(五)行動、行動ノ感應、及ビ感覺ハ、皆能ク一部分ノ類似カニ由リテ、觀念中ニ再現ス、

今、肖像ヲ見テ、其眞像ヲ憶フコトアルハ、類似カニ由リテ然ルナリ、而シテ肖像ト眞像トノ差違ハ、其類似スル所ヲ蔽フコト能ハズ、若シ其衣服、態度并ニ容貌等ヲ變ジテ、其差違ヲ增スヤハ、復タ肖像ニ由リテ眞像ヲ回憶スルコト能ハズ、是レ蓋シ境遇ノ駁雜ナルガ爲メニ類似カヲ失フナリ、

(六)感覺上ニ論及スル前ニ、先ヅ發音上ノ行動

ヲ論ゼンニ、今此ニ發スル言語ハ、駁雜ノ中ヨリ多少コレト類似スル往日ノ言語ヲ喚ビ返ス傾向アリ、故ニ一種ノ名句ヲ用ヒ、一段ノ佳話ヲ述ブル片ハ、心中必ズ其反覆スルヲ覺知スル者ナリ、若シポープ氏ノ詩集ヲ讀ミタル者ニシテ、カムプベル氏ノ「此命何時終、我恐」量其福」ト云フ句ヲ讀ム片ハ、ポープ氏ノ「長途愈多勞、我常恐商量」ト云フ句ヲ回想セザルヲ得ザルナリ、

(七)有機感覺ヲ反覆セントスル片、其回想ヲ妨

グル事項少シトセズ、例ヘバ、沈衰ハ同一ノ沈衰ニシテ、全ク異ナル原由ニ由リテ起ルヿアリ、即チ心痛ノ爲メニ起ルヿアリ、快樂ノ過度ナルヨリ起ルヿアリ、勞動ノ過度ナルヨリ起ルヿアリ、睡眠ノ不足ナルヨリ起ルヿアリ、然レ𪜈原由ノ此ノ如ク異ナルガ爲メニ、沈衰ノ感覺ニ由リテ、各種ノ原由ヲ盡ク回想スルヿ能ハズ、若シ心痛ニ由リテ沈衰ヲ來タセバ、往日ノ心痛ヲ回想スルヿ多クシテ、快樂ヲ過ゴシテ沈衰セシ時ヲ回想スルヿ少キナリ、但學

術上ノ教育ヲ受ケタル者ハ、甚シク差違アル原由ヲモ聯合スルヿアリ、

(八)味覺ハ種々ノ味覺ヲ混合シテ、區別シ難カラシムベシ、此ノ如クスルヿハ、各成分ハ皆其同種ノ者ヲ喚ビ返サントスレ𪜈、他ノ成分ノ爲メニ障碍セラルヽナリ、若シ三四種ノ塩類ヲ溶解混和シテ之ヲ味ヘ、其中ノ一味ヲ知リ得ルヿハ、其一味ハ平生最モ熟知スル所ナルベシ、

嗅覺ノ例ハ、別ニ擧グルヿヲ要セズ、

(九)觸覺ヲ起ス外物ハ、多クノ結果ヲ生ズルヲ以テ、駁雜ナル觸覺中ニ契合スル所ヲ認識スルコト少シトセズ、木ノ表面ノ如キハ、如何ナル形ト雖モ、其中ニ其契合スル所ヲ認識ス、即チ大小ノ差アリト雖モ、圓面ハ圓面ト聯合スルナリ、

(十)是ヨリ一層駁雜ナル聽覺ニ於テスラ猶且ツ異聲中ニ同聲ヲ認識スルヲ得、縱ヒ音響ノ強弱并ニ機器ノ精粗ニ由リテ音調ノ高低ヲ妨グルモ、音樂ニ慣レタル耳ハ、必ズ之ヲ認識スルナルベシ、實ニ音樂ヲ聽クニ練達シタルコトハ、駁雜中ニ同聲ヲ認識スルニ由リテ知ルベキナリ、

(十一)視覺ニアリテモ、亦同一ナリ、先ヅ各種ノ色ヲ駁雜中ニ聯合シ、隨ヒテ又之ヲ青黃等ニ彙類スル者ナリ、若シ二色ヲ混合スル一種ノ色アルトキハ、境遇ニ隨ヒテ二色ノ一ト聯合スルナリ、

接近セル諸質ノ叢會

(十二)第一、若干ノ覺官ニ感ズル外物、

二種ノ物、覺官ニハ一様ニ感ズレドモ、視覺ニハ異ナルコアリ、視覺ニハ一様ニ感スレ𪜈、味覺并ニ嗅覺ニハ異ナルコアリ、然レ𪜈其異ナル所ハ、決シテ其類似スル所ヲ蔽ハザルナリ、故ニ重量ノ金屬ハ、縦ヒ其形色ヲ異ニスルモ、其重量ヲ共ニスルガ爲メニ之ヲ聯合スルヲ得ルナリ、

（十三）第二、聯合シタル諸質并ニ利用ノ叢會、

各種ノ物、静ニシテ特立スル𪜈ハ、盡ク其諸質ヲ表ハサズ、燧石ノ如キハ、之ヲ捉リテ能ク撿査スルニアラザレバ、其堅脆等ノ諸質ヲ知ル能ハズ、銕槌モ亦之ヲ用フルニアラザレバ、十分ニ之ヲ知ル能ハズ、占風旗モ亦其風ニ隨ヒテ旋轉スルヲ見ルヲ要ス、故ニ各種ノ物ニ屬スル知識ハ、顯質ト潛質トノ相合スル者トスルナリ、

此外職業、學藝等ノ事ニアリテモ、之ト同ジク駁雜中ニ類似スル所ヲ認識スルニヨリテ進歩スル者ナリ、

第三複雜聯合

(一)聯合ハ分テバ甚ダ弱シト雖モ、合スレバ甚ダ強クシテ、能ク過去ノ經驗ヲ回復ス、

此ヨリ以前ニ論ゼシ所ハ、皆單一ナル聯合ノミナリシガ、今此ニ複雜ナル聯合ヲ論ゼントス、

觀念ノ連結スルハ、全ク接近律ニ由ルコトアリ、又接近律ト類似律トニ由ルコトアリ、是レ皆知力上ノ作用ナリ、此外情緒并ニ意志モ亦コレト關係スルコトアリ、

今一般ノ理法ヲ立テンニ、過去ノ作用、感覺、思想并ニ情緒ハ、接近律若クハ類似律ニ由リテ、若干ノ事物、即チ印象ト聯合シタルトキニ、最モ容易ク回想スベキナリ、

接近律ニヨリテ集合スル觀念

(二)接近律ニヨリテ集合スル觀念ハ、接續ト繼在トノ二類ニ分ツナリ、

先ツ觀念ノ接續ヲ論ゼンニ、凡ソ事物ノ心ニ感ズルハ、複雜ナル印象ニヨルナリ、星ノ如キ單一ナル物ト雖モ、光ト大サト、形狀トノ集合ナリ、金剛石ハコレヨリ一層複雜ナル者ナリ、

此複雑ナル集合ノ一部分ト聯合スルヲ得レバ、其他ハ總ベテ之ト倶ニ伴生ス、然レ𪜈此ノ如ク特立セズシテ、位置、人物、利用、性質等ト種々ノ關係ヲ有スル者ハ、許多ノ聯合ヲ生ズルノ餘地アルナリ、位置ノ聯合ハ、其單一ナルト複雑ナルトヲ問ハズ、大ニ記憶ヲ助クル者ニシテ、凡ソ一定ノ位置ヲ有スル者ハ、其位置ト共ニ心意中ニ聯合ス、然リト雖モ、此等ノ聯合ハ特立スレバ甚ダ微弱ナル者ナリ、故ニ唯家ノ内部ヲ追憶スル

ノミニテハ、總ベテ其家什類ヲ回想スルヿ能ハズ、然リト雖モ、位置ノ關係ヨリシテ、他事物ヲ回想シ得ルヿナキニアラズ、例ヘバ、一箇ノ鑛物ヲ見テ、其何タルヲ回想スルヿ能ハザルモ、嘗テ之ヲ見タル博物場ヲ思ヒ出シ、ソレヨリ漸次ニ之ヲ追憶シ得ルヿアリ、又街頭ニ於テ人ニ逢フ𪜈、其人ハ嘗テ見タルガ如シト雖モ、其果シテ誰ナリシヤヲ覺エザルヿアリ、此時偶〻嘗テ其人ト逢ヒタル位置ヲ回想シ、次第ニ其人ノ誰タルヲ知リ得ルヿアリ、

品物ハ其持主、製造者、發明者、及ビ其他總ベテ之ト關係アル人物ト聯合スル者ナリ、抑、此聯合タルヤ、決シテ強固ナル者ニアラズト雖モ、亦他ノ聯合ヲ助クルノ勢アルナリ、故ニ豪傑ト關係ヲ有スル家ハ、其豪傑ノ聯合ニヨリテ、其位置ノ聯合ヲ助クルヲ以テ、久シク之ヲ記憶スルヲ得ルナリ、又人物モ之ト關係アル品物ニヨリテ、回想スベキフアリ、即チ位置、家屋等ニヨリテ、人物ヲ追憶スルガ如キ、是レナリ」、利用、并ニ性質ノ聯合モ、亦他ノ聯合ヲ助クル者ナリ、今此ニ勸業博覽會ヲ追憶センニ、利用并ニ性質ノ聯合、能ク位置ノ聯合ヲ助クルヲ以テ、心意中ニ農具、工具等ヲ回想シ得ルナリ」、繼在ノ種類許多アル中ニモ、結合ニヨリテ記憶トナル者アリ、蓋シ事實ノ連鎖ヲ記憶スルハ、之ト關係アル事實ト之ト同時ニ起ル事實トノ連鎖ニヨルフ多シ、故ニ歷史上ノ事ヲ回想セントスル片ハ、之ト關係アル事實并ニ觀念等アリテ、能ク其記憶ヲ助クルナリ、錯雜ナル言語ノ聯合ハ、實ニ人ノ習成シタル

智識ノ大ナル部分ヲ占ムル者ニシテ、大抵記憶スル所ハ物ノ概念ト言語ト相混シタル者ニ過ギズ、即チ談話ヲ聽ク片我心ニ感ズル者ハ、半ハ言語ナリ、半ハ思想、物像、并ニ感應ナリ、故ニ之ヲ記憶スル片ハ、其質複雜ナラザルヲ得ズ、

類似ノ集合

(三)類似スル所多キ片ハ、往事ヲ回想スルノ助ケトナル、是レ蓋シ類似律ノ然ラシムル所ナリ、若シ他ノ書ヲ模倣スルカ、或ハ剽竊シタル書ヲ讀ム片ハ、始メハ其然ルヲ知ラザルモ、其類似スル所ノ次第ニ增加スルニ至リテ、始メテ之ヲ曉ルナリ、

混同セル接近及ヒ類似ノ二律

(四)初メ類似律ニヨリテ聯合シ得タル事ヲ、後ニハ接近律ニヨリテ保持スルヲ得、若シ發明ニ長ジタル人、學術上ニ於テ新奇ナル聯合ヲ爲シ、一タビ二種ノ事物ヲ比方スル片ハ、其後ハ之ヲ接近律ニヨリテ附着スルヲ得ルナリ、

然レ氏類似律ニヨリテ聯合シタル事ノ未ダ全ク接近律ニヨリテ附着セズシテ、半ハ類似律ニヨリテ之ヲ追憶シ、半ハ不十分ナル接近聯合ニヨリテ之ヲ回想スルヿアリ、蓋シ第二流ノ人ハ、此位置ニアリテ、唯原造力ヲ有スル人ノ發明ヲ應用シ、漸次ニ之ヲ心意中ニ附着スル者ナリ、

(五)凡ソ類似ヲ回想スルヿ、之ヲ親近ナル事物ニ徴スルヿ、最モ多シトス、

村落ニ住スル詩人ハ、村落ノ景況ヲ寫スノ傾向アリ、又今讀ム所ノ題目ト類似スル者ハ、必ズ之ヲ數日前ニ讀ミタル書中ニ於テ求メントス、是ヲ以テ、發明ヲ為スニ肝要ナル理法アリ、曰ク、類似ヲ求メント欲セバ、其事ニ關スル題目ヲ以テ屢其心ヲ感渉スルヲ要スト、此ニ一ノ格物學者アリテ、一ノ數學式ヲ得ント欲シテ、未ダ之ヲ得ザルヿハ、再ビ數學ヲ學ビ、隨ヒテ又其範圍中ノ事項ト親近ナル關係ヲ得ベシ、若シ又此ニ一個ノ詩人アリテ、スペンセル体ノ詩ヲ作ラント欲セバ、靈妃篇、及ビ其他ノ

本書ヲ讀ムヲ要ス、若シ又壯大ナル句法ヲ得ント欲セバ、イスキロス氏并ニミルトン氏ノ詩ヲ讀ムニ若クハ莫シ、凡ソ作家タル者ニシテ、筆頭ノ窘束ヲ憂フルカ、若クハ極メテ雄勁ナル句法ヲ要スルヤハ、其軌範トスベキ最上ノ名篇ヲ翫讀スベキナリ、

(六)類似律ヲ用ヒ、人工ニヨリテ記憶ヲ助クルヿアリ、

謂ハユル助記法ハ、類似律ト接近律トヲ併セテ之ヲ用フル者ナリ、又同音ヲ以テ始マル字ヲ用フルハ、記憶ヲ助クル單一ノ法ナリ、蓋シ押韻モ亦之ト同一ノ効アリ、

感應ノ成分

(七)連續シタル感應ノ複雜ナル聯合中ニ入ルヿ甚ダ大ナリトス、

現在ノ感應ハ、即チ之ト契合スル者ヲ保持シ、然ラザル者ヲ拒絶スル心意上ノ能力ニシテ、夫ノ自慢心アル人ノ自己ニ榮譽アル事ノミヲ回想スルガ如キハ、亦感應ノ然ラシムル所ナリ

執意ノ勢力

(八)意志ハ、知力上ニ於テ、唯、間接ノ勢力ヲ及ボスノミ、

動機ノ作用ノミニテハ、微弱ナル聯合ヲシテ強固ナラシムル能ハズ、

第一、強大ナル動機ハ、神經系ヲ感激シ、爲メニ心意上ノ作用ヲシテ亢進セシム、

苦痛ヲ避クルカ、若クハ快樂ヲ求ムルヤハ、神經ノ作用、之ガ爲メニ亢進シ、其他ノ諸官能モ、亦皆此ニ由リテ激發ス、而シテ接近律ト類似

律トニヨリテ回想スベキ能力モ、亦此中ニアルナリ、蓋シ亢進シタル腦髓ノ作用ハ、疫病者ノ譫語ニ由リテ之ヲ證スベシ、譫語ノ中ニハ、往々忘却シタル事ヲ詳細ニ反覆スルヿアリ、之ト同一ノ理ニ由リ、發明ヲ爲サントスル人ハ、非常ナル腦髓ノ感激ヲ要ス、

第二、意志ノ作用ハ眼中ノ物象ニ注意ヲ爲スヿ、是レナリ、

現在ノ物象ニ甚シク注意スル片ハ、過去ノ聯合ヲシテ再生セシムルノ効アリ、故ニ若シ追

憶ニ苦ムヿハ、必ズ此ノ如クスルノ傾向アリ、
今遠處ノ山ノ名ヲ思ヒ出サントセバ、暫ク其山
ヲ見テ思想ノ端緒ヲ開クニ若クハナシ、此事
ハ實物ニ限ルニアラズ、想像上ニアリテモ同
一ナリ、今此ニ往日ノ談話ヲ追想セント欲セ
バ、已ニ記憶シ得タル語ニ注意シ、ソレヨリ漸
次ニ追想スベキナリ、
第三、事物ヲ追想セントスル意志アルヿハ、之ト
關係アル事物ヲ求ム、
各種ノ聯合ハ、分テバ微弱ナルヲ以テ、集メテ

之ヲ結合シ、十分ニ堅固ナラシム、故ニ今一ノ
聯合ヲ追憶セントスルニハ、他ノ聯合ノ之ト
關係アル者ヲモ思想セザルヲ得ズ、例ヘバ、歴
史上ノ要領ヲ順ヲ逐ヒテ記憶ゼザルヿニ、人
物、地所、其ニ著キ事項等ヲ思想スルガ如キ、是
レナリ、蓋シ意志ノ勢力ハ、此ノ如ク間接ナル
ニ過ギズト雖モ、亦甚ダ大ナル者ト知ルベシ、

障碍トナル聯合

(九)助成スル勢力ハ、拒絶スル勢力ヲ含有ス、即チ
我ヲ助成スル要因ハ、若シ我ト反對ノ地位ヲ占

ムル片ハ、却テ我ヲ障碍ス、此事ハ共發聯合ニ於テ明ニ觀ルベシ、

初メ誤音ヲ記憶シタルガ爲メニ、人ノ名字ヲ記憶スルニ苦ムガ如キハ、往々コレアルニテ、又物品ヲ遺失シタルヿニ誤リ記スルヿアルヿ片ハ、甚ダ回想ニ苦ム者ナリ、故ニ自ラ其誤リヲ知ルニ至リテ、洞然回想シ得ルヿアリ、

學藝ノ歴史ヲ讀メバ、先入、主トナリタル謬見ノ爲メニ、創見ヲ障碍セシヿ少シトセズ、殊ニアリストーツル氏ノ心理論ノ如キハ、却テ後世ノ説ヨリモ正シキヿアリ、是レ偏ニアリストーツル氏ノ優等ナル性質ヲ有シタルガ爲メナラズ、抑又後世謬見ノ人ヲ迷ハセシガ爲メナリ、又プリーストリー氏ノ如キハ、先輩ノ爲セシ所ヲ深ク知ラズシテ、化學ヲ討究セシヲ以テ、尋常化學者ヲ誤マル所ノ偏見ヲ免レタリ、故ニ其發明セシ所少シトセズト云フ、

第四構造聯合

(一)心意ハ聯合ノ作用ニヨリテ實際ニ經驗シタ

ル者ト全ク異ナル結合、即チ叢會ヲ生ズル能力ヲ有スルナリ、

想像、創造、並ニ構造ノ諸作用ハ、前章ニ於テ未ダ説明セザリキ、但類似律ニヨリテ發明ノ端緒ヲ開クベキコトハ已ニ論ジタレド、機器ヲ創製スル人、又ハ學者、又ハ詩人、又ハ畫工、又ハ樂人等ノ能力ハ、コレヨリ猶ホ一層錯雜セル者ナリ、然レド前章ニ論ジタル心意ノ能力ノ外、別ニ特異ノ能力ヲ要スト云フニハアラズ、唯ク感應並ニ意志ノ刺戟ヲ要スルノミ、

機械的ノ構造

(二)機械的ノ習成ニヨリテ種々ノ行動ヲ結合シテ、新ニ其叢會ヲ生ズ、蓋シ各種ノ行動ニ傾注スル執意ハ、能ク集メテ之ヲ結合スル者ニテ、是ヲ第一ノ作用トス、

舞蹈ヲ學ブニハ、先ヅ各種ノ行動ヲ學バザルヲ得ズ、之ヲ爲スニハ、意志ノ使役ニヨリテ両眼ノ瞳子、各種ノ行動ニ傾注シ、接近律ニヨリテ之ヲ結合スル者ナリ、此事ハ練兵、及ビ其他百般ノ手術ニ於テモ同一ナリ、又時トシテハ

習成シタル行動ヲ改メントスルコアリ、例ヘバ歩行スルニ、兩腕ヲ搖カサバランストスルガ如キ、是レナリ、又時トシテハ錯雜シタル行動ヲ學ブガ爲メニ、屢試ミルコアリ、例ヘバ、游泳ヲ學ブニハ、支体ヲ動カシテ、能ク游泳スル人ノ行動ニ倣ハントシ、屢誤リテ後始メテ能ク其肯綮ヲ暁ルガ如キ、是レナリ、

此ニ由リテ之ヲ觀レバ、機械的ノ構造ヲ爲スニハ、左ノ三條ノ事項ヲ要ス、

㈠各種ノ行動ニ注意セザルベカラズ、各種ノ行動ニ注意スルコト愈〻精密ナレバ、之ヲ結合スルコト愈〻容易ナリ、

㈡結合セント欲スル物象ノ觀念、謀圖、若クハ概念ヲ要ス、即チ心意上ニテ想見スベキ結果ノ形狀ナカルベカラズ、

㈢經驗ヲ反覆スルニ、誤マルコト多シ、蓋シ執意ハ各種ノ行動ヲ協和セントスレドモ、初メノ中ハ、容易ニ協和セズ、一タビ誤マリテハ復タ經驗シ、復タ誤マリテハ復タ經驗ス、此ノ如クニシテ後始メテ成ル者ナリ、

リ、

行動ノ感應

(六)經驗ノ効ニヨリテ勢力并ニ行動ノ感應ニ、新奇ノ結合ヲ生ズルヲ得、

知力ヲ助クルニ最モ肝要ナル筋覺ハ、抗拒、壓搾、行動等ノ諸印象ナリ、蓋シ手ト腕トニヨリテ各度ノ重量、即チ一磅、四磅、二十磅等ノ觀念ヲ得ルヤハ、此ニ由リテ其間位ノ重量ヲ想見スルヲ得、例ヘバ、一磅ノ觀念ト二倍若クハ三倍ノ觀念トヲ得ルヤハ、此ニ由リテ畧、二磅若

聞ク所ノ文章ヲ模擬セントスルモ、亦前條ト同ジク言語上ノ構造ニ属ス、若シ又多クノ文章ヲ熟知スルヲ得バ、新奇ノ意味ヲ表ハサンガ爲メ取捨折衷シテ、自ラ構造スルニ至ルナリ、

(五)言語ヲ連結スルノ最モ長キ者モ、亦構造ニ出ヅルナリ、

先ヅ多クノ名目并ニ成句、熟語、文章等ヲ記憶スレバ、新奇ノ構造ヲ為スヲ得、蓋シ記憶スル所愈多ケレバ、新奇ノ構造ヲ爲スヿ愈容易ナ

リ、

行動ノ感應

(六)經驗ノ効ニヨリテ勢力并ニ行動ノ感應ニ、新奇ノ結合ヲ生ズルヲ得、

知力ヲ助クルニ最モ肝要ナル筋覺ハ、抗拒、壓搾、行動等ノ諸印象ナリ、蓋シ手ト腕トニヨリテ各度ノ重量、即チ一磅、四磅、二十磅等ノ觀念ヲ得ルヤハ、此ニ由リテ其間位ノ重量ヲ想見スルヲ得、例ヘバ、一磅ノ觀念ト二磅ノ觀念トニ倍若クハ三倍ノ觀念トヲ得ルヤハ、此ニ由リテ畧ゝ二磅若クハ三磅ノ觀念ヲ得ルヤ如キ是レナリ、

感覺ノ構造

(七)覺官ノ感覺ハ、情緒ニ關スル者モ、知力ニ關スル者モ、共ニ構造スル所甚ダ多キナリ

味覺并ニ嗅覺ノ如キ劣等ノ覺官ハ、多ク情緒上ノ感覺ヲ生スル者ニテ、若シ能ク其感覺ノ成分ヲ熟知スルヤハ、新奇ノ苦痛若クハ快樂ヲ構造スルヲ得、即チ分娩ノ苦痛ハ、痙攣ノ苦痛ニヨリテ推知スベク、銳敏ナル苦痛ハ、火傷ノ苦痛ニヨリテ推知スベキガ如キ是レナリ、

快樂ノ感應モ、苦痛ト同ジク、新奇ノ構造ヲ成スベキ者ナリ、

又之ヲ知力上ヨリ論ズルヒハ、味覺ト嗅覺トハ、一層構造シ易キ者ナリ、即チ風味、甘味、苦味等ノ經驗ニヨリテ、風味ト苦味トノ混合、又ハ甘味ト酸味トノ混合ノ如キ、新奇ノ味覺ヲ構造スルヲ得、嗅覺モ亦構造スベシ、蒜臭ニヨリテ阿魏ノ臭氣ヲ推知スルガ如キハ、即チ嗅覺ノ構造ナリ

優等ノ覺官ニ至リテハ、其例極メテ許多ナリ、

蓋シ觸覺、聽覺、及ビ視覺ニ屬スル苦痛ト快樂トハ、最モ多ク知力ニ關スル者ニテ、劣等ノ感覺ヨリモ一層容易ニ構造スルヲ得ルナリ、

觸覺ニ就キテ之ヲ言ヘバ、柔輭、剌戟、堅固、粗剛、平滑等ノ經驗多キヲ以テ、此ニ由リテ、新奇ノ觸覺ヲ構造スルヲ得、又聽覺ニ就キテ之ヲ言ヘハ、若シ他人ガ我レニ我レノ未ダ曾テ聞カザル音響ヲ告ゲントスルニハ、必ズ我レノ已ニ知リ得タル音響ニヨリテ、新奇ノ構造ヲ爲サシメザルヲ得ズ、視覺ニ至リテハ、知力ニ關

スルヿ最モ多キヲ以テ、構造モ亦隨ヒテ容易ナリ、今此ニ無光物アランニ、其光ヲ生ズルニ至ラバ、如何ナル形狀ナラント想見スルヲ得、此ノ如キノ例、日常ノ間、極メテ許多ナリ、必ズシモ詳悉スルヲ要セズ、

情緒ノ構造

(八)構造ノ例ハ、高等ノ情緒ニ於テ之アリ、驚駭、恐怖等ノ如キ單一ナル情緒ハ、皆一層單一ナル情緒ニ分解スベシト雖モ、要スルニ、經驗ニヨリテ知ルベキ者ナリ、

單一ナル構造ハ、唯〻情緒ノ度ヲ變ズルノミナリ、例ヘバ、自己ヨリ多少勇氣アルカ、若クハ自慢ナルカ、若クハ怒リ易キ人ノ感應ヲ忖度スルニ、自己ノ感應ヲ增減スルガ如キ、是レナリ、然レ𪜈情緒ノ甚ダ微弱ナル者ハ、力ヲ極メテ推度スルニアラザルヨリハ、反對ノ資質ヲ有スル人ノ情緒ヲ想見スルヿ能ハズ、蓋シ人ハ唯自己ノ情緒ノ範圍ヲ超ユルスラ、猶ホ且ツ嫌忌スルノ傾向アル者ナリ、故ニ格言ニモ「欲知人必先愛之」トアリ、

實際上ノ構造

(九)實際上ノ構造ハ、如何ナル局部ニモ存スル者ナリ、

機械ノ創造ノ如キハ、最モ心意上ノ構造ヲ要スル者ナリ、蓋シ類似律ニヨリテ既ニ用ヒタル機械ヲ、新奇ノ處ニ用フルガ如キハ、亦創造ノ一部ヲ成スト雖モ、然レ𪜈機械ヲ創造スルハ、多ク新奇ノ構造ニ係ル、即チ機械力、喞筒、並ニ金屬ヲ鎔解スルノ法ノ如キ、是レナリ、抑〻發明ヲ爲スニハ、必ズ其端緒ヲ開クベキ機會アルナリ然レ𪜈此機會タルヤ、必ズ之ヲ利用スルニ傾向セル人ノ心ニノミ現出スルナリ、因テ茲ニ發明ヲ爲スニ要用ナル性質ヲ擧ゲンニ、發明ヲ要スル題旨ヲ熟知スルヿ、試驗上ニ用フル性氣ノ鋭敏ナルヿ、並ニ題旨ニ嗜好アルヿ、是レナリ、思フニ、ケプレルフークプリーストリーゼームス、ワットソル、ウォルリヤムホルセル等ノ諸氏ハ、此三箇ノ性質ヲ有セシ人ナリ、

又事務ヲ處スルニモ、社會ヲ整頓スルニモ、法

律ヲ立テ、制度ヲ定ムルニモ、判斷スルニモ、演説スルニモ、總ベテ此三箇ノ性質ヲ要スルナリ、

感應ノ構造

(十)多クノ構造ノ中ニ、恐怖、忿怒、美麗、德性等ノ如キ直接ノ感應、即チ情緒ヲ大成セントスル者アリ、

一種ノ情緒ヲ有スルトキハ、其情緒ハ必ズ心意上ノ構造ヲ鎔鑄センントス故ニ大ニ恐怖スルトキハ、危難ノ想像ヲ生ジ、志氣發揚スルトキハ、百般ノ願望ヲ、心意中ニ畫キ出ダス、即チウォルスセルリー二氏ノ如キハ、富贍ナル想像ヲ有スルヲ以テ、其萬物ヲ寫スヤ、極メテ華麗ナリ、又シェークスピール氏ノ天眞ナル、ミルトン氏ノ宏壯ナル、アツヂソン氏ノ温和ナル、スウヰフト氏ノ侮慢ナルガ如キハ、皆其心意ヲ占領スル情緒ノ、直ニ其文辭ニ發現スル者ナリ、

(十一)美術ノ構造ハ、總ベテ美術家ノ有スル美術上ノ感應、即チ趣味ニ適スル者ナリ、

美術上ニテハ、和合ノ感應ヲ大成スルヲ最要

トス、今詩ニ就キテ之ヲ言ハンニ、其物象ハ必ズ作家ノ情操ト和合セザルベカラズ、即チ人物ノ如キハ、各〻其適當ノ處ニ排置シ、言語ハ當ニ流麗ニシテ、詩ノ趣向ト相適セザルベカラズ、然レ氏畢竟詩人ノ要スル所ハ、其感性ニ協和スル結果ヲ得ンコトスルニアリ、

(十二)想像ハ美術ノ構造中ニアリテ、最モ能ク其特異ノ處ヲ現ハス、蓋シ想像ノ成分中最要ナル者ハ、(イ)形而下ナルヿ(ロ)原造ナルヿ並ニ(ハ)情緒ノ、現存スルヿ是レナリ、

(イ)想像中ノ物象ハ、形而下ノ者、即チ眞實ナル者ニシテ、形而上ノ者ト相反ス、然レ氏想像中ノ景況ハ、眞實ノ物象ニ、十分ノ潤色ヲ加ヘタル者ナルベシ、

(ロ)想像ハ、想像スル人ノ心意中ニアリテハ、多少原造ノ處ヲ含有スル者ニテ、單ニ往事ヲ回想スルトハ、格別ナリ、故ニ想像ヲ構造作用中ニ列シ、記憶並ニ概念ニ勝ル者トス、

(ハ)想像ハ心意中ニ現存スル情緒ニヨリテ起ル者ナリ、畢竟如何ナル構造ト雖モ、其本ノ情

緒ヨリ起ラザルハナシ、即チ喞筒ハ乾燥、及ヒ其他ノ感應ヲ醫センガ爲メニ構造スル所ナリ、幾何學ノ形圖ト雖モ、亦間接、若クハ直接ノ情緒ニ本ツクナリ、意象ト云ヘル語ハ、天然想像ハ意象ト異ナリ、ノ現象ト最モ異ナル構造ヲ指ス、即チ仙境ノ景ノ如キ、是レナリ、

理想ハ想像ノ異名ナリ、然レ𪜈主トシテ實物ノ限界ヲ超エテ飛昇シ、實際ニハ滿足シ難キ願望ヲ、十分ニ滿足スベキ光景ニ畫キ出ダス

ヲ謂フ、

心理新説巻之二終

心理學ハ心意ノ妙用ヲ論シ人智ヲ啓發スルノ學ナレバ學士論者ノ別ナク必ズ講究アルヘキコハ識者ヲ俟タズシテ明ナリ然レ𪜈本邦未曾テ精核ナル心理書ヲ譯スル者アラズ僅ニ一二ノ譯本アレ𪜈其原書ノ著家ハ皆小家數ニシテ其説ハ已ニ陳腐ニ屬セル者ナリ因リテ這回井上先生ニ心理書譯述ノ事ヲ請ヒシニ先生乃チ泰西ノ鴻儒倍因氏ノ書ニ就キ先ツ其大綱ヲ淺近ニ抄譯シ之ヲ總論智情意ノ四卷トセラル是レ實ニ心理學ノ寶筏ナリ然レ𪜈其意義深奥一語一句ト雖モ天機ヲ含有スルアリテ一讀直チニ其理ヲ悟ルベキ者ニアラズ因リテ猶ホ又別ニ之レガ解釋一卷ヲ附セラレントス看官此ニ據リテ本書ヲ照シ沈思瞑想セバ孔釋モ未タ説カザル所ノ心理ヲ發悟スルコ豈難シトセンヤ江湖ノ諸彦試ニ講究アレ實ニ千古ノ珍書ナリ殘餘ノ二卷モ本年十月頃ニハ必ズ發行スベシ

出版者謹白

明治十五年五月十二日　版權免許
同年　九月　日　刻成出版

譯者　井上哲次郎
麹町區三番町四十八番地

校訂　大槻文彦
浅草區今戸町二十一番地

出版　青木輔清
日本橋區濱町二丁目十一番地